



全仏地方自治体事務総長組合 (SNDGCT) 年次総会

(一財)自治体国際化協会パリ事務所 元所長補佐 小久保 祐樹 (香川県派遣)

SNDGCT とは

全仏地方自治体事務総長組合 (SNDGCT) は地方自治体の幹部職員である事務総長と事務次長等を会員とする職業団体であり、1948年に設立されました。現在、会員数は約4,000人(うち現職約3,000人)で、組合内では州および県ごとの支部が置かれています。

第79回年次総会

79回目となる今回の総会は2019年11月7日から9日まで、フランス北部アラスにおいて開催されました。

総会は全体会と分科会で構成されており、全体会ではSNDGCTの年次活動報告に加え、民主主義と公共サービスの発展などをテーマとしてラウンドテーブルが行われました。分科会では国際関係、テレワーク、人工知能、教育など、政策ごとのテーマに分かれ、より具体的な議論が行われました。

クレアからは本部役員やパリ事務所もこの機会をとらえ、SNDGCT会長や欧州国際委員会委員長と積極的に意見交換を行いました。総会にはベルギー、ルーマニア、セネガル、カナダ・ケベック州からの代表団も参加しており、各地域の参加者とも情報交換をすることができました。



SNDGCT 欧州国際委員会委員長とクレアとの意見交換

仏自治体との持続的な相互交流に向けて

クレアパリ事務所では、2015年にSNDGCTと協力に関する覚書を締結し、自治体幹部職員同士の積極的な相互交流を行っています。

SNDGCTは、自治体幹部職員を日本から招き、フランスの自治体幹部職員と意見交換や交流等を行う自治体幹部交流セミナーを隔年で実施しています。2019年度は、10月24日から27日まで、観光政策をテーマにブルターニュ州、レンヌ・メトロポール等の協力を得て、州各地を巡る形式で行われ、香川県が参加しました。(詳しくはクレアパリ事務所ホームページをご覧ください。<https://clairparis.org/ja/clair-paris-blog-jp/blog-2019-jp/1356-sndgct>)

また、クレア主催の海外自治体幹部交流協力セミナーにも多くの会員が参加し、年次総会は、これらの参加者との関係をより一層深めることに加え、自治体幹部職員との新たなネットワークを構築する場ともなっています。今回の総会でも先進自治体を紹介いただき、クレアレポートのヒアリング調査を実施できました。クレアパリ事務所は、今後もSNDGCTとの強固な関係を維持し、フランス自治体との持続的な相互交流を実現してまいります。



SNDGCT 主催 自治体幹部交流セミナーの様子